

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	改修工事標準仕様書検討小委員会	主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (標準仕様書運営委員会)	委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：清水 昭之
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・(設置目的) 地球環境問題の観点から、既存建築物ストックの品質を良好な状態に保って有効活用することが重要な時代になってきた。そのためには、建築改修工事の標準仕様書の制定が必要である。本小委員会では、改修工事の標準仕様書の体系(維持保全の目標の設定、点検、調査・診断、改修設計、改修工事)を検討し、制定作業を行う。</p> <p>(各年度活動計画) 2009 年度～2010 年度にかけては、仕様書の体系を検討し、JASS のように工事種別に制定するか、建物種別・構造種別に制定するか、などの方針を検討する。2011 年度～2012 年度は、その方針に従って作業を開始し、できる範囲で成案を作成する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>梶田佳寛(宇都宮大学)、本橋健司(芝浦工業大学)、野口貴文(東京大学)、近藤照夫(ものづくり大学)、鹿毛忠嗣(建築研究所)、井上照郷(NSK)、輿石直幸(早稲田大学)、兼松学(東京理科大学)、黒田泰弘(清水建設)、川西泰一郎(UR 機構)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>なし</p> <p>2010 年度は、維持保全、調査・診断、設計・施工の各 WG を設置する予定</p>	
2008 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(2009 年度)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2009 年度に新設し、検討を開始したところであるが、一応の作業方針が固まってきた。
委員会活動の問題点・課題	予算が少なく、委員の献身的な協力によるところが大である。予算が少なく、遠方の委員が参加しにくい。また、補修・改修を専門に行っている学識経験者が少ないため、人選が難しい。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。